

先週の宿題ですが、こちらもすごくいろいろな答えを聞かさせていただきました。

水、塩、氷などなどたくさんのお答えを書いてももらいました。ありがとうございます。うどん、ラーメンなどの答えもありましたが、小麦粉は立派な生き物なので、残念ながらそれは違いますね。水、塩以外には、金箔などもありました。お酒に入っていたりしますね。あとはちみつ、牛乳など微妙なものもありました。いずれの答えも、こどもたちが一生懸命考えた証だと思います。だんだん考えることが習慣になればと願っています。

さて、今日は、ひとつの詩を読みたいと思います。まずは、校長先生が読むので、よく聞いてください。

こどもが
せっせっ せっせっ とあるく
すこしきたならしくあるく
そのくせ
ときどきちらっとうつくしくなる

では、校長先生に続いてよんでみましょう。

それでは、246年と135年にわかれて1行ずつ読みます。まずは246年さんどうぞ、次は135年生さんどうぞ。かわりばんこに読みます。前後交替して読みましょう。どうぞ。

だんだん、じっくり丁寧に読めてきましたね。いい文章は、読めば読みほどスピードはゆっくりになっていくものです。

こんどは男女でわかれて読みましょう。

まずは男子からどうぞ。次は女子です。どうぞ。これも前後交代して読みます。

最後は、各自が自分のペースで読んでみましょう。どうぞ。

今度は、どんな風景、光景かイメージしながら読んでみましょう。では、この詩で自分が気になるところ、いいなあと思うところを少し周りの人と聞きあってみましょう。

どうですか？じゃあ、今から校長先生がいくつか小さな質問をしながら話しますので、みなさんは頭の中で考えてくださいね。

まず「子ども」は、何歳ぐらいかなあ。男の子？女の子？一人かなあ、それとも2人以上かなあ。こんなふうに、詩は一つの言葉をじっくりイメージしながら読むと実におもしろいものです。次の「せっせっ せっせっ」ってどんなふう？歩いている場所は？季節は？時間は？

そして次の「きたならしく」がいいですね。校長先生はここがこの詩のすてきなところだと思います。普通はきたならしく歩いてわざわざ書きませんよね。どんなふうにあるくと「きたならしくなんでしょう？」少しまわりの人とききあってみてください。

しかもちらっとうつくしくなる！うつくしい歩き方ってどんな歩き方かな？

どうでしょう。こんな短い詩ですが、いろいろな読み方、味わい方ができましたね。では、いつもの宿題です。

そろそろ、みなさんも慣れたきたと思うので、今回の宿題なんだと思いますか？

そう、この詩の題名はなんでしょう？

すこしまわりの人と聞きあってみてください。

わかったよという人は、いつものように校長室前の紙に書きに来てくださいね。